

事業所名

縁ドーナツ 児童発達支援

支援プログラム

作成日

2025 年

11 月

6 日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんなときも明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境づくりに努めます。		
支援方針		・お子さまの特性を理解し、マンツーマンで寄り添い、たくさんの「できた！！楽しい！！」を経験できるよう、いろいろなことにチャレンジします。 ・お子さまの特性、性格に寄り添い、その子のペースに合わせ、時間をかけて支援します。・得意なこと、興味のあること、強みを保護者様とともに見つけていきます。 ・家庭から集団への第一歩を支え安心して過ごせる「もう一つの居場所」となるよう努めます。・年齢に合わせた活動に取り組みます。		
営業時間		10 時 0 分から 16 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	生活⇒身辺の自立（着脱・トイレ・食事等）。交通ルール・遊びのルールを学ぶ。マンツーマンでお子さまの段階に合わせて取り組みます。 食育⇒おやつ作りやクッキングを通し、食べ物への興味・食域を広げます。外食チャレンジします。 運動⇒夜の睡眠に繋がられるよう日中は体を動かし生活リズムを整えます。屋内：ボール・マット運動・リズム体操・手遊び 屋外：公園遊び・全身運動・地域交流		
	運動・感覚	運動⇒屋内活動：全身運動・バランス感覚を養うレクリエーション（ストップ・GO！・ジャンプ・スキップ）・音楽を使ったレクリエーション。・感触遊びを通じた実験（粘土等） 屋外活動：公園遊び・散歩・ボール・遊具。手・足型アート。 食育⇒体を動かしお腹を空かせ、食事をする楽しさを知り、完食を目指します。・生活⇒お箸・スプーン・フォーク・鉛筆など正しい使い方を知り手先の力加減を養います。		
	認知・行動	・自分・家族以外の人と触れ合うことで、他人の存在を知り世界を広げていきます。・自分の名前・お顔・持ち物を覚え、自分のものと他人の物の違いに気づくお手伝いをします。 ・色・形・左右・体の部位・動物・ひと・ものの名前・場所を覚えます。（絵カードマッチング・ブロック・パズル・パネルシアター・スキンシップ） ・お子さまに合わせた運筆・ハサミ・ノリ、絵の具・色鉛筆・水性ペンを使った工作や塗り絵。手先を使ったちぎり絵。		
	言語コミュニケーション	・言葉に触れる機会を増やし、発語のきっかけを作る。お子さまの特性に合わせて、コミュニケーションの方法を学ぶ。（ジェスチャー・マカトンサイン・絵カード） ・遊びを通じて「貸して」「いいよ」のルールを学ぶ。 ・気持ちカードを使って自分の気持ちを表現するお手伝いをします。		
	人間関係社会性	・朝→「おはよう」 昼→「こんにちは」 夜→「こんばんは」「おやすみなさい」や「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶のほか、「ありがとう」「ごめんなさい」などの お友達と仲良く楽しく過ごすための、かかわり方の「はじめの一步」を学びます。 ・地域に出て人と触れ合う楽しさを体験します。		
家族支援		面談・送迎・line・電話等で対応。養育上での相談や療育での不安などはいつでも相談に応じている。活動中の様子を写真で知らせている。	移行支援	保育園・幼稚園・こども園・保護者様・併用先事業所との情報の共有。入学先への情報提供及び必要に応じ訪問。
地域支援・地域連携		地元の公園のほか、買い物レク・外食レク・公共施設の利用・公共の交通機関を使っての外出など、外出を多く取り組んでいる。	職員の質の向上	外部研修・事業所内研修（毎月）に取り組んでいる。事故・苦情について職員間で話し合い再発防止に努め、意識の向上を図っている。
主な行事等		・季節ごとの行事⇒初詣・節分・ひな祭り・花見・七夕・プール・縁日・お月見・運動会・ハロウィン・遠足・クリスマス・大掃除・年賀状作り ・毎月⇒カレンダー制作・壁面工作・お誕生日会・クッキング・防災訓練・外出レク・近隣～遠方の公園 公共施設（博物館・水族館・環境センター・動物園・児童館・プラネタリウム・防災センター等）への外出。		